

「夢や希望をもち、主体的に学び、たくましく伸びていく由宇っ子の育成」をめざして由宇小学校 で取り組んでいくこと

**アンケート最終
回答率は
約71%でした。**

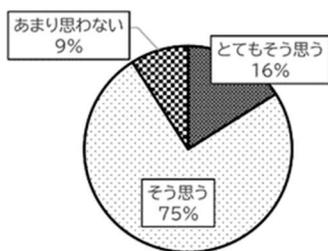
学校評価アンケートの結果から見えてきた実態や課題が、「夢や希望をもち、主体的に学び、たくましく伸びていく由宇っ子の育成」をめざして学校と家庭、地域が一体となった取組を進めていくヒントとなります。今回、結果をもとにプロジェクトごとに取組や改善点をまとめました。無回答がある項目は、100%になっていません。

1 主体的な学びプロジェクトに関すること

わかる・できる→楽しい授業をめざして

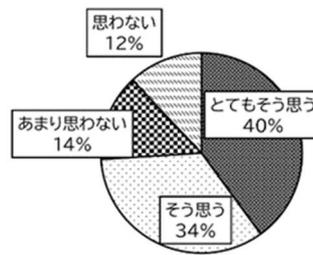
【前期】

由宇小は、授業を工夫したり個別指導を充実させたりして子どもの学力向上に努めている【保護者】



■とてもそう思う □そう思う ■あまり思わない □思わない

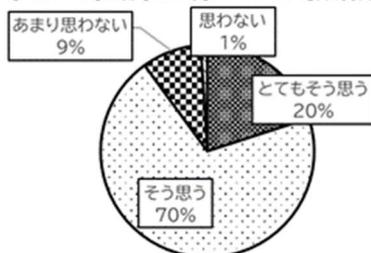
勉強は楽しい【児童】



■とてもそう思う □そう思う ■あまり思わない □思わない

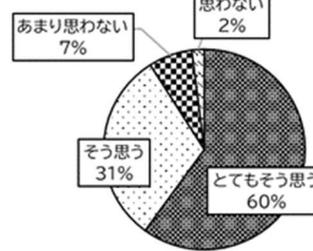
【後期】

学校は、授業を工夫したり個別指導を充実させたりして子どもの学力向上に努めている【保護者】



■とてもそう思う □そう思う ■あまり思わない □思わない

勉強は楽しい【児童】



■とてもそう思う □そう思う ■あまり思わない □思わない

現状 前回同様に90%の保護者の方から授業改善について肯定的な回答をいただきました。児童の肯定的な回答が高くなり、私達も授業改善への手応えを感じています。本校では、指導者や学校運営協議会委員の皆様を招いた研修会の実施、小中一貫教育の充実のため他校の先生方にも参加していただきました。一方で児童が感じる勉強の楽しさを保護者に伝わるように発信していく工夫が必要です。

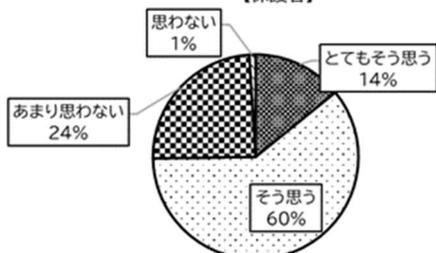
手立て 今後も、これまで同様子どもたちに寄り添いながら、分かった・できたを実感できるような授業作りに努めていきます。朝学でやまぐちっ子学習プリントを継続して実施し、基礎基本の定着を図ります。また、もくもくルームを活用し、課題に対してつまずきを感じている児童が、地域の方や他学年と交流しながら基礎的な内容を振り返る機会にしていきたいと思います。

2 豊かな心プロジェクトに関すること

思いやりのある学校を目指して

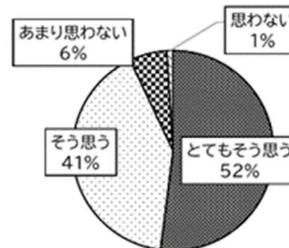
【前期】

お子様は、家庭や学校で（自分から）あいさつをしている。【保護者】



■とてもそう思う □そう思う ■あまり思わない □思わない

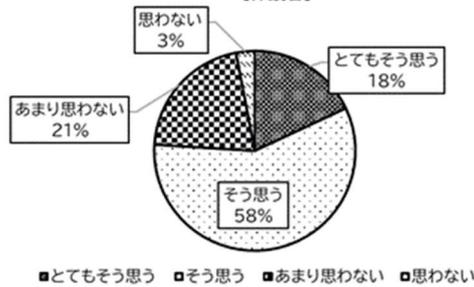
家庭や地域で（自分から）あいさつをしていますか【児童】



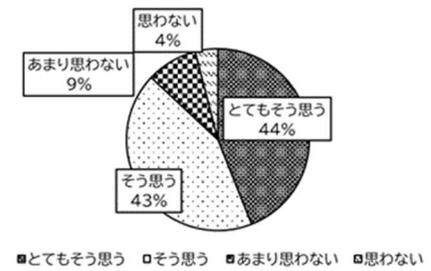
■とてもそう思う □そう思う ■あまり思わない □思わない

【後期】

お子様は、家庭や学校で（自分から）あいさつをしている。
【保護者】



家庭や地域で（自分から）あいさつをしていますか【児童】



現 状

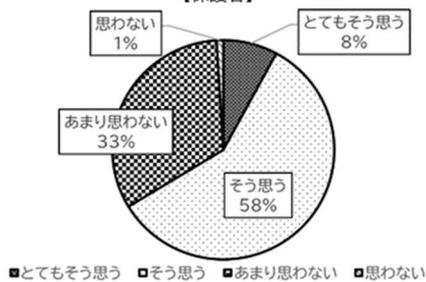
「自分からあいさつ」の項目(中学校区共通指標)では、子どもは「とてもそう思う」「そう思う」を合わせて90%近くが、肯定的な回答をしています。前期よりは減少しています。自分のあいさつについて振り返り、あいさつのよさについて各学級で話し合うことで、あいさつに対する意識が変化していることが影響していると考えられます。しかし、あいさつ集会を行ったことで学校や地域では、自分からあいさつをする児童や気持ちのよいあいさつが返ってくる児童が増えたように感じます。

手立て

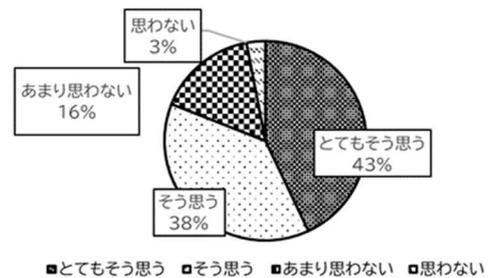
学校としては、子どもたちの発達段階に応じて、望ましい挨拶の仕方について繰り返し確認をして、進んで挨拶ができる子どもの育成に引き続き努めています。よいあいさつの姿を価値付け、由宇地区全体に広がっていくようにしていきます。また、委員会中心で児童主体の活動を計画し、自分から気持ちのよいあいさつができるように取り組んでいきます。

【前期】

お子様は、自分の考えを相手に伝えることができている。
【保護者】

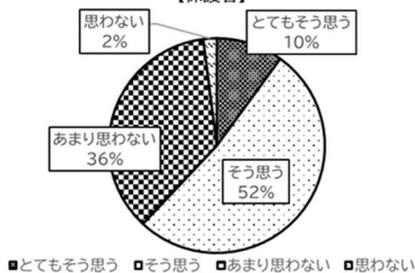


自分の考えを相手に伝えることができますか【児童】

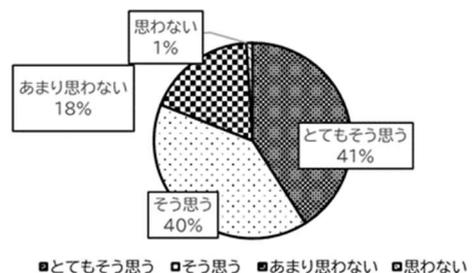


【後期】

お子様は、自分の考えを相手に伝えることができている。
【保護者】



自分の考えを相手に伝えることができますか【児童】



現 状

「自分の考えを相手に伝える」の項目(中学校区共通指標)では、肯定的な回答が子どもは80%以上で、保護者は60%となり、意識の違いが見られます。前回とあまり変化がありませんでしたが、主体的に自分の思いや考えを「伝え合う力」の育成に向けて、子どもたちの伝え合う場面が効果的に設定された学習展開が多くなりました。

手立て

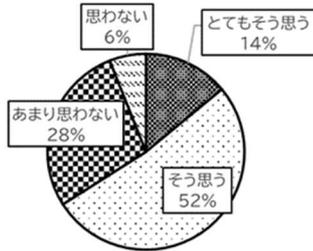
本校の研修主題でもある「伝え合う力の育成」に向け、引き続き授業改善に取り組んでいきます。授業での様々な場面で、ペアやグループ・集団での対話を仕組みます。段階的に対象を増やすことで話すことに慣れさせ、自分の考えに自信をもたせます。交流活動に苦手意識がある子どもが、場の雰囲気慣れ、発言への抵抗感を軽減できるように努めています。

3 たくましい体プロジェクトに関すること

よい生活習慣の育成をめざしてメディアコントロール

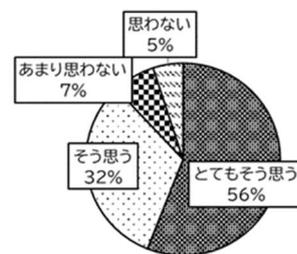
【前期】

お子様は家庭で決めたメディアの約束を守っている【保護者】



■とても思う □そう思う ■あまり思わない □思わない

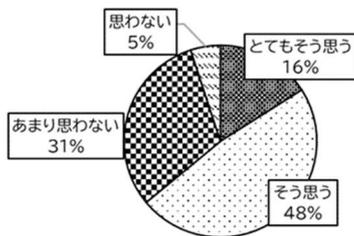
タブレットのきまり等、メディアの約束を守っていますか【児童】



■とても思う □そう思う ■あまり思わない □思わない

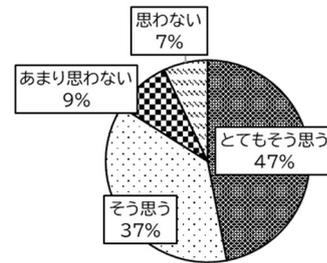
【後期】

お子様は家庭で決めたメディアのルールを守っている【保護者】



■とても思う □そう思う ■あまり思わない □思わない

タブレットのきまり等、メディアの約束を守っていますか【児童】



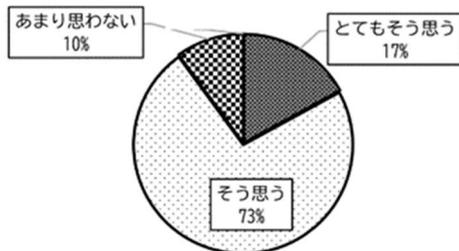
■とても思う □そう思う ■あまり思わない □思わない

現状 メディアルールのない家庭が100家庭から60家庭にまで減少し、メディアとの付き合い方の意識が高まってきています。しかし、「メディアの約束を守る」の項目では、前回と同様に親子での意識の違いがあることが分かります。

手立て 学校でのタブレット活用時にメディアとの正しい付き合い方を継続します。また、年間を通して何度もメディアとの付き合い方を親子で考える機会を設けていけるように、我が家のメディアルールや元気カード、保健だより、メディアアンケート等の取組の継続に努めていきます。

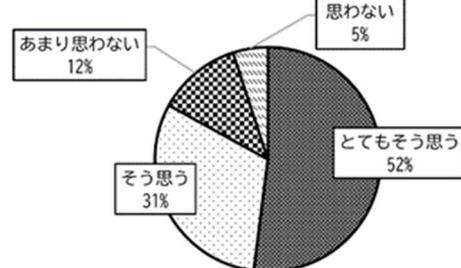
【前期】

学校は、児童の体力向上に取り組んでいる。(体育・外遊び・おうちで運動)【保護者】



■とても思う □そう思う ■あまり思わない □思わない

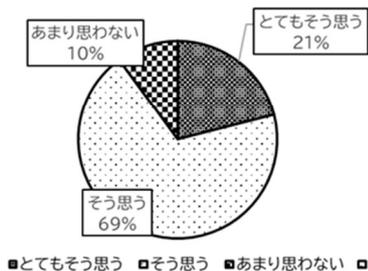
休み時間には、元気に外で遊んだり、家では「おうちで運動」に取り組んでいますか【児童】



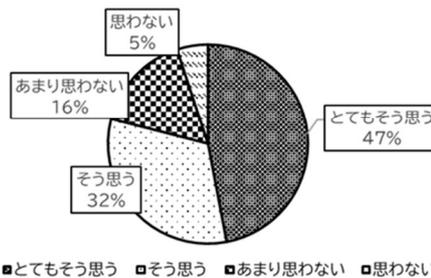
■とても思う □そう思う ■あまり思わない □思わない

【後期】

学校は、児童の体力向上に取り組んでいる。(体育・外遊び・おうちで運動)【保護者】



休み時間には元気に外で遊んだり、家では「おうちで運動」に取り組んでいますか。【児童】



現状 前期と同様に保護者も児童も体力について肯定的な回答でした。休み時間に外で元気に遊ぶ児童が多くいます。持続的に運動する取組として、毎日の宿題で「お家で運動」を推進した結果、巧みな動きが身に付いて骨折等の大きな怪我をする児童が減ってきました。

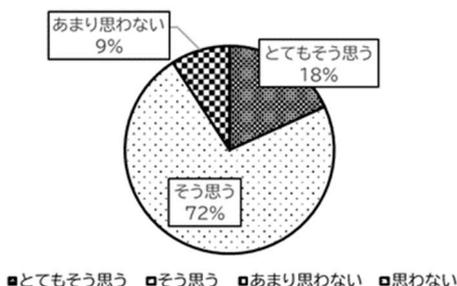
手立て 外遊びを奨励するとともに、全校児童を巻き込んだ縄跳び大会等に取り組み、運動して楽しかった経験を積めるように努めていきます。また、体育科の授業だけでなく、「お家で運動」も継続し、運動好きの子どもを育成し、体力向上を推進していきます。

4 地域との連携プロジェクトに関すること

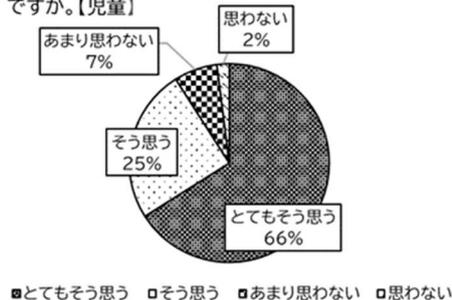
地域とのつながりを大切にした取組に

【前期】

学校は、地域の人材を有効に活用している【保護者】

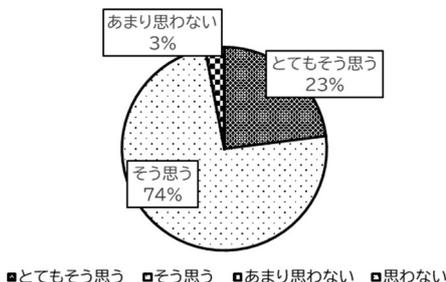


地域の方と一緒に活動したり、勉強したりするのは楽しいですか。【児童】

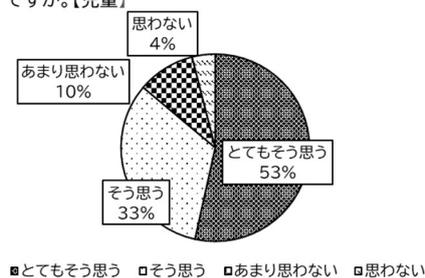


【後期】

学校は、地域の人材を有効に活用している【保護者】



地域の方と一緒に活動したり、勉強したりするのは楽しいですか。【児童】



現状 今年度は、保護者や地域の方に来校していただく機会が増えました。本校の学校運営協議会や由宇町の「結愛ネット」を通じて、多くのボランティアの方々にご協力いただいています。地域人材の有効活用に関する項目では、保護者の肯定的な回答が97%と良好な数値になりました。子どもたちの85%が地域のことを学んだり、地域の方と勉強したりすることが楽しいと回答しています。

手立て 子どもたちと地域の方々がつながる機会を創出し連携しながら、地域のよさや魅力を実感、再発見する教育活動を推進していきます。学習の成果や取組の様子について積極的にホームページに掲載し、学級・学年便りを通じて保護者の皆様、地域の皆様にも情報を発信し周知していきます。